

SJAC 9120A規格改正原案 パブリックコメント募集用ドラフトに対するコメント・処置結果

No.	規格原案 箇条番号	コメント	変更提案	コメント処置結果・内容
1	目次 0.4	目次のページが1なのに対し、本文は2であり、不一致。	目次の1を2にする。	提案採用
2	2.	JIS Q 9100の要求に加えて適用される事項としてJIS Q 9100:2016が呼ばれている。(SJAC9110では記載が無い)	「JIS Q 9100:2016～要求事項」を削除する。	原文に合わせてあるため、現行案どおりとする。
3	7.5.3.2	他では、「JIS Q 9100の要求事項を適用する。ただし～」となっているのに、ここではJIS Q 9100の要求事項もそのまま書かれている(使用しない)としか書かれていないが、参考に、タイトルを書いた方が良いのでは？(SJAC9110では、本文で、「タイトル名(適用しない。)」としている。	JIS Q 9100そのものの記述は削除し、他の書き方に合わせて、追記部分のみを記載する。	ユーザーが内容を理解する上で問題がないと考えるため、現行案どおりとする。
4	8.1.1 8.1.3	「不正品の疑いがある部品の防止」とあるが、SJAC9110では「不正品の疑いのある部品の防止」となっており、不一致。	シリーズ規格ということを考慮し、どちらかに合わせる。	現行案は原文どおりであるが、和文独自の追加として点線下線でタイトルを入れる。
5	目次 及び 8.1.5	「不正品の疑いがある部品の防止」とあるが、SJAC9110では「不正品の疑いのある部品の防止」となっており、不一致。	どちらかに合わせる。	提案採用。9110、9120とも、箇条3で用語「不正品の疑いがある部品」を定義しているのをこれに統一する。
6	8.1.5	SJAC9110とほとんど同じ文章だが、一部相違有。	8.1.5について、9100と9120で同じ英文の箇所は、同じ和訳にする。	提案採用。原文が異なるところもあるため再確認し適宜和訳を合わせる。
7	附属書A	見出しの“附属書A”のフォントがゴシック体になっている。	英数字“A”のフォントを“Times New Roman”にする。	現行案どおり、JIS Q 9100に合わせて、附属書見出しの英数字はゴシック体に統一する。